

# プロ野球・ファンにおける観戦行動と

## ホームタウンに対する愛着との関係

スポーツマネジメントゼミナール 1316055 林 清龍

### 1. 研究動機・研究目的

観戦動機や地域愛着に関する研究は存在するが、1つのスポーツチームに着目した研究は数少ない。北海道日本ハムファイターズでは地域愛着やボールパーク化といった新たな球団構想が掲げられている。本研究にて北海道日本ハムファイターズの人気や地域愛着度を明らかにすることで今後のボールパーク化構想がホームタウンでどのように考えられているのかが明らかになると考えた。また、観戦動機や地域愛着の尺度を用いて各チームのファンの意思を分析することで、ファンによる地域愛着や観戦動機が地域やチームにどのような影響をもたらすかといった疑問を解決するために本研究に着手することにした。

本研究の目的は、北海道日本ハムファイターズのホームタウン（北海道）における北海道日本ハムファイターズファンの札幌ドームでの観戦動機と北海道日本ハムファイターズファンによるホームタウン（北海道）に対する愛着度を明らかにし、出身地・居住地・性別・会員といった個人的属性による差異を検証することである。さらに、本研究の結果より北海道内の各地域でホームタウン活動に活用することで、北海道全体の活性化と今後の日本の各地域での活性化に役立てたいと考えた。

### 2. 研究方法

本研究の対象者は、北海道日本ハムファイターズファンの353名であった。

調査方法は、SNS(twitter)を通じてアンケート調査を実施した。自らのSNSアカウントで発信し、フォロワーや投稿を見ている北海道日本ハムファイターズファンに回答をしてもらった。

調査期間は、2019年10月18日から10月22日の5日間とした。

個人的属性については、性別、年代、出身地、現在の居住地、過去に北海道に住んだ経験の有無、北海道での居住年数、会員種（ファンクラブ会員、シーズンシート会員、非会員）、過去に入会したことのある会員種（ファンクラブ会員、シーズンシート会員、非会員）を回答してもらった。

観戦動機に関する項目については、二宮（2011）で用いられている京都ハンナリーズの観戦動機の測定項目を改変し、21項目の測定項目を援用した。観戦動機の測定項目については、6段階評定尺度を用いて回答を得て、「非常にそう思う」=5点、「とてもそう思う」=4点、「ややそう思う」=3点、「あまりそう思わない」=2点、「そう思わない」=1点、「全くそう思わない」=0点の得点を付与した。

地域愛着に関する項目は、二宮（2011）の調査項目を北海道日本ハムファイターズのホームタウンである北海道という地域への愛着に改変し、15項目の測定項目を援用した。ホームタウンへの地域愛着の測定項目については、6段階評定尺度を用いて回答を得て、「非常

にそう思う」=5点、「とてもそう思う」=4点、「ややそう思う」=3点、「あまりそう思わない」=2点、「そう思わない」=1点、「全くそう思わない」=0点の得点を付与した。

### 3. 主な結果と考察

ファンクラブの仕組みからホームタウンに住んでいる人が優位となる特典があるわけではなく、どこに住んでいても同じ特典であるため、ファンクラブの入会の有無によって愛着度の差異は見られなかった。シーズンシート会員では、ファンクラブのみ入会しているファンや非会員のファンより、消費が多くロイヤルティが高いと仮説を立てたが、今回の結果から有意差を導き出すことはできなく仮説は棄却された。年代、性別、居住歴など個人属性を明らかにしてきたが今回の質問内容ではこれらに関してみ有意差を導き出すことはできなかった。また、北海道の方の人間性を考えたり、それに合う質問項目があればまた違った結果を見出せたとも考えられる。

### 4. 結論

本研究では、北海道日本ハムファイターズのホームタウン（北海道）における北海道日本ハムファイターズファンの札幌ドームでの観戦動機と北海道日本ハムファイターズファンによるホームタウン（北海道）に対する愛着度を明らかにし、出身地・居住地・性別・会員といった個人的属性による差異を検証した。結果より、以下のことが示される。1) ホームタウン（北海道）への愛着度において、ファンクラブの会員種による有意差はない、2) ホームタウン（北海道）への愛着度において、シーズンシートの契約による有意差はない、3) 観戦動機において現在の居住地による有意差はない、4) ホームタウン（北海道）への愛着度において、年代による有意差はない、5) ホームタウン（北海道）への愛着度において、居住歴による有意差はない、6) ホームタウン（北海道）への愛着度において、性別による有意差はない、7) 性別によって観戦動機に差異はあったが、他の仮説を見る限り大きな差異がないことが明らかとなった。

### 5. 卒業論文の執筆を終えて

本卒業研究にて、「北海道日本ハムファイターズ」をテーマとして、ホームタウン（北海道）における北海道日本ハムファイターズファンの札幌ドームでの観戦動機と北海道日本ハムファイターズファンによるホームタウン（北海道）に対する愛着度の関係について調査・研究を行った。twitterを用いてアンケート調査を実施し、353名の方から回答をいただけたことが成果であったが仮説に対して具体的な結果へ導き出せなかったことが反省である。また、北海道の方々の人間性など特徴をつかめるような質問内容や他競技と比較した質問も新しい発見につながると感じた。

北海道の活性化のために、まずは国内で最先端のボールパークスタジアムが北海道に完成と同時に北海道内から新たな観戦スタイルへ発展していくことで地域愛着度やチームへの愛着度が高まることが考えられる。道内での人口減少が進む一方で、インバウンドによる外国人観光客が急増し、多くの分野で開拓の余地がある。国内外問わず、観光の代表となっている北海道をスポーツの分野で活性化していくための第一歩として北海道日本ハムファイターズの新球場に期待が高まることが考えられる。